

会議名	ご遺族支援コーナー業務委託事業候補者選考委員会 第1回事業候補者選考委員会										
開催日時	令和7年11月28日（金曜日）午後7時から午後8時30分まで										
開催場所	港区役所9階913会議室										
委員	<table border="0"> <tr> <td>明治学院大学名誉教授</td> <td>岡本多喜子（委員長）</td> </tr> <tr> <td>芝地区総合支所長</td> <td>横尾恵理子（副委員長）</td> </tr> <tr> <td>港区民生委員・児童委員協議会会長</td> <td>田中泉（委員）</td> </tr> <tr> <td>港区社会福祉協議会事務局長</td> <td>長谷川浩義（委員）</td> </tr> <tr> <td>保健福祉支援部長</td> <td>荒川正行（委員）</td> </tr> </table>	明治学院大学名誉教授	岡本多喜子（委員長）	芝地区総合支所長	横尾恵理子（副委員長）	港区民生委員・児童委員協議会会長	田中泉（委員）	港区社会福祉協議会事務局長	長谷川浩義（委員）	保健福祉支援部長	荒川正行（委員）
明治学院大学名誉教授	岡本多喜子（委員長）										
芝地区総合支所長	横尾恵理子（副委員長）										
港区民生委員・児童委員協議会会長	田中泉（委員）										
港区社会福祉協議会事務局長	長谷川浩義（委員）										
保健福祉支援部長	荒川正行（委員）										
事務局	芝地区総合支所区民課										
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会・挨拶 2 委嘱状交付 3 委員紹介 4 委員長・副委員長の選出 5 議題 ご遺族支援コーナー業務委託 （1）選考委員会選考スケジュール（案）について （2）事業候補者募集要項（案）について （3）事業候補者選考基準（案）及び選考評価基準（案）について 6 今後のスケジュールについて 7 閉会 										
配付資料	<p>[席上配付]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 選考スケジュール（案） ・資料2 募集要項（案） ・資料2-2 募集要項【様式集】（案） ・資料2-3 仕様書（案） ・資料3 選考基準（案） ・資料3-2 選考評価基準（案） ・参考資料1 ご遺族支援コーナー業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 ・参考資料2 事業候補者選考委員会委員名簿 										

会議の内容	
	<p>【1 開会 ～ 3 委員の紹介】 (事務局より開会の挨拶及び委員の紹介) ～詳細省略～</p>
	<p>【4 委員長・副委員長の選出】 (事務局より委員長の選出について依頼)</p>
委員A	岡本委員を推薦したい。 (委員一同異議なし)
岡本委員	異議なしということであればお引き受けさせていただく。 ⇒委員長は岡本委員に決定
委員長	副委員長は委員長が指名することなので、横尾委員を指名したい。
横尾委員	承知した。 ⇒副委員長は横尾委員に決定
	<p>【事業の概要について】 (事務局から説明)</p>
委員B	ご遺族の方へのリーフレットはどこで配られているのか。
事務局	支所で配布している。また電子版が区ホームページからダウンロード可能である。
委員B	ご遺族支援コーナーの利用率が低いという点も課題と聞いたが、この利用率向上も目的の一つか。
事務局	そのとおり。

会議の内容	
	【5（1） 選考委員会選考スケジュール（案）について】 （事務局から資料1について説明）
委員C	企画提案書の提出期間が12月4日から1月7日となっており年末年始をはさむが、期間が短くはないか。
事務局	プロポーザルガイドライン上応募期間を1か月程度設けることとなっており、ガイドライン上は問題ない。
委員C	他のプロポで提出期間が短いために応募できなかった事業者がいたという事例を聞いたことがあるが、スケジュールの兼ね合いがあるのであればやむを得ない。
委員B	事務局として、応募者は何者程度を予測しているか。
事務局	他のプロポや、他区での類似事業の展開状況を勘案すると2、3者の応募はあるのではないかと見込んでいる。
委員長	スケジュールについて異議はあるか。 （委員一同異議なし） ⇒ <u>提案どおり決定</u>

会議の内容	
	<p>【5（2）事業候補者募集要項（案）、事業候補者選考基準（案）及び選考評価基準（案）について】</p> <p>（事務局より資料2～3-2について説明）</p> <p>（事務局より資料3-2の加点項目について、人を扱う業務であるため、雇用に関する項目にした旨を説明）</p>
委員A	資料3-2「採点基準表」の、項番3（3）の様式の記載は「様式9」ではなく「様式8（3）」であると思われる。
事務局	資料の記載誤りのため修正する。
委員D	資料の枚数制限についての記載はあるか。
事務局	枚数制限を厳しくし過ぎると資料が分かりづらくなり、審査が難しくなると懸念したため、現時点では記載していない。
委員D	制限を設けるべきと考える。大量にあると優良誤認しやすく、限られた枚数のなかで説明できる業者が必要と考える。
委員B	具体的に何枚程度が好ましいか。
事務局	他のプロポの例では補足資料として全体で10枚程度を追加可能としていることが多い。
委員E	一次選考の審査期間が2週間となっている。しっかりと審査に時間をかけたので枚数制限は必要と考える。 一次選考で通過させる事業者は3者のみなのか。
事務局	3者程度選ぶ想定である。
委員長	4者目以降も拮抗して二次選考に進ませたい場合、この委員会の判断で一次選考合格者を追加することよろしいか。 （委員一同異議なし） ⇒ <u>二次進出事業者数は3者前提だが拮抗する場合は追加</u>

会議の内容	
委員C	補足資料10枚程度とは様式ごとではなく、提案全体に対して10枚の制限でよいか。
事務局	そのとおり。
委員A	それが分かるような表現に修正すべき。
事務局	資料2の6ページ(6)の内容を修正する。
委員B	文字の大きさは指定するか。
事務局	様式については11ポイントで記載するが、補足資料については任意の文字サイズでの作成を認める想定である。
委員B	それで問題ないと考える。
委員B	二次選考のプレゼンテーションの参加人数は何名か。
事務局	資料3項番2(2)に記載のとおり、業務責任者と担当者の2名を想定している。
委員C	2名は少ないように感じる。担当する職務によって質問回答する人物が異なる場合が想定されるため、もうすこし増やしてもよいのでは。
委員B	業務責任者と担当者の役割は何か。
事務局	業務責任者は全体のマネジメントを行うリーダー、担当者は現場で窓口に出る担当者を想定している。
委員B	港区での業務に参加する人物に説明してもらう必要があるが、体制上複数人配備されると思われる。その場合でもプレゼン参加は2名までか。
事務局	必要であれば参加者を増やすことも可能と考える。

会議の内容	
委員 E	業務担当者は 5 地区でばらばらか。
事務局	支所ごとに事業実施曜日を分けるので、同一人物が各支所にて従事することも想定される。
委員 D	「ご遺族の方へ」のパンフレットの作成については委託仕様内に含まれるか。
事務局	本業務委託には含まれていない。
委員長	<p>まとめると、プレゼンの時間については事務局提案どおり 1 者 30 分でプレゼン 10 分、質疑 20 分とする。プレゼンの説明者については現場管理責任者と担当で 5 名までとする。参加者については募集要項に具体的に加筆することで異議はないか。</p> <p>(委員一同異議なし)</p> <p>⇒二次審査は 1 者 30 分でプレゼン 10 分、質疑 20 分 <u>プレゼンの説明者については現場管理責任者と担当で 5 名まで</u></p>
委員 D	業務担当者は窓口に出る人だと思うが、様式 5 の枚数が足りなくなるのではないか。
事務局	必要に応じて様式を増やして記載してもらおう想定である。様式の備考欄に具体的に記載する。
委員 B	責任者と担当者 1 名ずついれば、業務自体はまわるのか。
事務局	曜日で勤務地を分けているので業務自体はまわるが、体制的に十分な人数なのかは二次審査の質疑にて確かめる必要があると認識している。
委員 D	このサポート業務は同一人物が複数回利用可能なのか。
事務局	可能であるが今年度に限って言えば、同一人の複数回利用は事例がない。

会議の内容	
委員C	評価項目について、外国籍の方向けの対応可否などは採点表で反映されているのか。
事務局	採点項目の項番4業務水準の(4)にて、高齢者、障害者など、要配慮者への対応が記載されているが、直接外国籍の方についての表記はない。
委員A	様式8(4)の冒頭の説明に細かく対象者の属性を列挙した方がよい。
事務局	様式を修正する。
委員D	一次審査と二次審査の点数のウェイトは区で基準があるのか。
事務局	区のガイドライン上、一次2:二次1となっている。
委員D	一次のウェイトが大きく逆転が難しいのではないか。また、区内事業者優遇等の「加点項目」が50点である理由はあるか。
事務局	加点項目の配点は、区の施策に合致した事業者を優先的に評価するという、区のガイドラインに基づくものである。
委員B	事業者の事業規模について評価する項目はあるか。
事務局	様式4の事業者概要や業務実績にて記載してもらうほか、事務局が行う入札参加資格の確認においても、経営状況が一定基準以上である確認が可能と考える。
委員C	トラブル・苦情対応について、反映できる評価項目はあるか。
事務局	直接的な記載はない。
委員D	苦情発生時にどのように対処するか接遇面での記載が必要と考える。様式8の業務提供水準への記載が必要ではないか。
事務局	様式8(4)に具体的な苦情対応などの提案を求める記載に修正する。

会議の内容	
委員D	従事予定者の専門性について、業務従事年数の累積を求めているが、従事者が多ければその累積も多くなると考える。年数は平均がよいのではないか。
事務局	経験年数の長い人を1名だけ提案された場合の平均よりも、累積の方が経験年数の長い人が多く配置してもらえると想定した基準である。
委員B	1支所に何名配置するかは決めているのか。
事務局	事業者の提案事項となっている。
委員長	修正箇所については事務局に修正を依頼し、それ以外の部分については当初提案どおりで問題ないか。 (委員一同異議なし)
委員長	事務局は内容を修正したものを12月1日(月)に委員に再提出すること。
事務局	承知した。
委員長	修正版を確認したうえで、当初提案どおり12月4日(木)からの募集開始で異議ないか。 (委員一同異議なし) ⇒事務局で資料修正し委員了承後、募集は12月4日(木)から開始
事務局	【6 今後のスケジュールについて】 12月4日に募集要項を公表し、1月7日の正午まで受付期間とする。 事務局から企画提案書を各委員へ郵送し、第2回の選考委員会は1月21日とする。
委員長	他全体をとおしてご意見、ご質問はあるか。 (委員一同意見なし)
委員長	それでは、これで第1回事業候補者選考委員会を閉会する。 (閉会)